

岩手県の観光

—八幡平市のインバウンドを中心に—

2 回生 本荘 仙貴

1. はじめに

岩手県は、全国の県で最も面積が広く、奥羽山脈や北上山地、北上川、海岸段丘やリアス式海岸など山・海・川の大自然に恵まれている県である。平泉や御所野遺跡、橋の鉄鉱山など幅広い時代を感じることができる場所があり、観光資源の一つとして活用されている。また、三大麺であるわんこそばや盛岡冷麺、盛岡じゃじゃ麺のような料理や、奥州市の前沢牛や三陸海岸でとれる海産物などの食材など、食も充実している。さらに近年では流行語大賞に選ばれたセリフがある 2013 年の NHK ドラマ「あまちゃん」やアニメ「ハイキュー」、「呪術廻戦」や 2022 年の映画「すずめの戸締り」に出てくるなど、ロケツーリズムを活用した観光にも力を入れている。本稿では、まず岩手県観光統計概要をもとに岩手県の観光の概要を述べる。次に岩手県に訪れる外国人観光客に着目し、岩手県内で最も外国人観光客が来ている八幡平市に着目し、聞き取り調査と現地調査をもとに八幡平市におけるインバウンドの特徴について述べる。

2. 岩手県の観光の概要

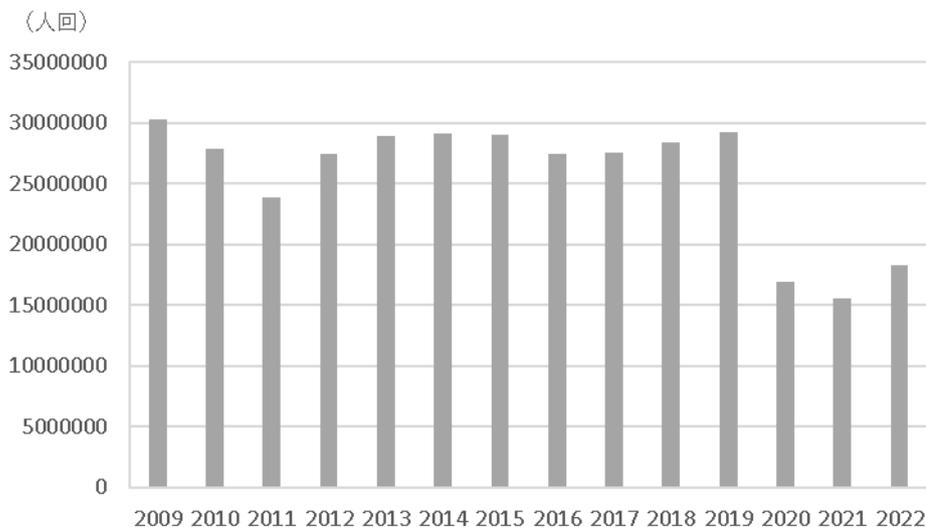


図1 岩手県の観光入込客数の推移
(岩手県観光統計概要より作成)

図1は岩手県の2009年から2022年までの観光入込客数の推移を示したものである。県全体の観光客数は2009年から2019年まで見ると、2011年までは減少傾向で、2013年まで増加傾向で、その後は微減しているものの、安定して観光客が訪れていることがわかる。2011年まで減少傾向であった理由は2008年の最大震度6強で土砂災害による被害が多かった岩手・宮城内陸地震や2011年の最大震度7で津波や火災、原発事故による被害が多かった東日本大震災による影響で観光客が減少したと考えられる。2011年から2013年までの増加している理由として2点挙げられる。1点目は、2011年に「平泉一仏国土を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」が世界遺産に登録されたことが挙げられる。2点目は、2013年にNHKで放送されたドラマ「あまちゃん」の影響であると考えられる。2016年から若干減少しているのは、「あまちゃん」ブームが落ち着いたからではないかと考えられる。

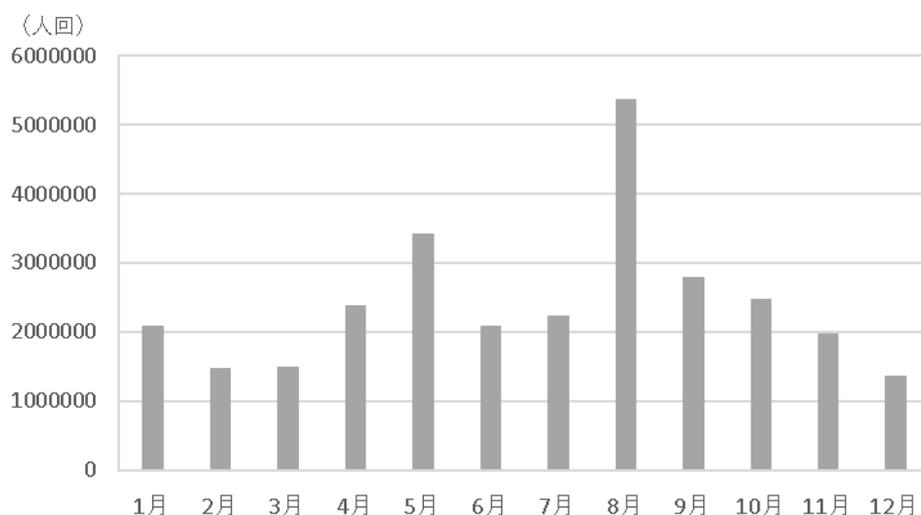
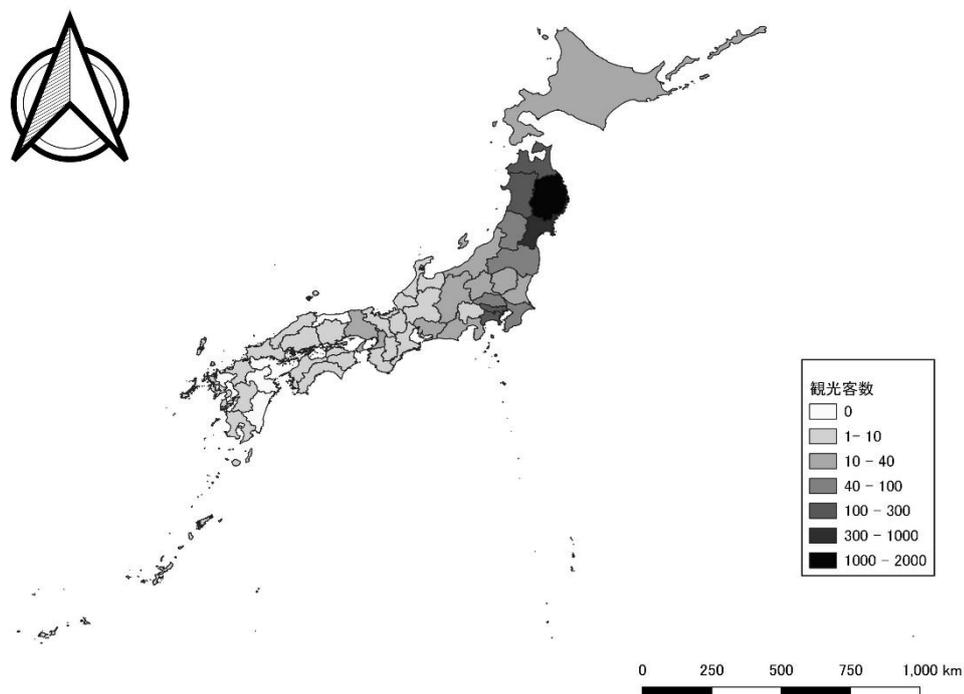


図2 岩手県月別観光入込客数(延べ人数)(2019年)
(岩手県観光統計概要より作成)

図2は岩手県を訪れる観光客を月別で示したものである。特に5月と8月が多いことがわかる。8月は夏休みやお盆があり家族旅行などがしやすいことや、全国的に有名である東北の祭りが開催されることが理由として考えられる。同様に5月もゴールデンウィークといった長期休暇や、春の藤原まつりといったまつりがあることが理由として考えられる。



合計：3057 人

図3 発地別観光入込客数（2019年）
（岩手県観光統計概要より作成）

図3は2019年に岩手県を訪れた人がどの都道府県から訪れているのかを示したものである。県内の観光客が最も多く、東北地方ではすべての県が40人以上観光客が訪れている。また、東京や神奈川など関東からの観光客も多く、西の都道府県ほど訪れる観光客は少なくなっている。東京や神奈川など首都圏からの観光客が多いのはJR東北新幹線が通っていることが理由として考えられる。また、観光客のターゲットを首都圏にしているということが県庁からの聞き取り調査で分かり、その影響で首都圏からの観光客が多いと考えられる。

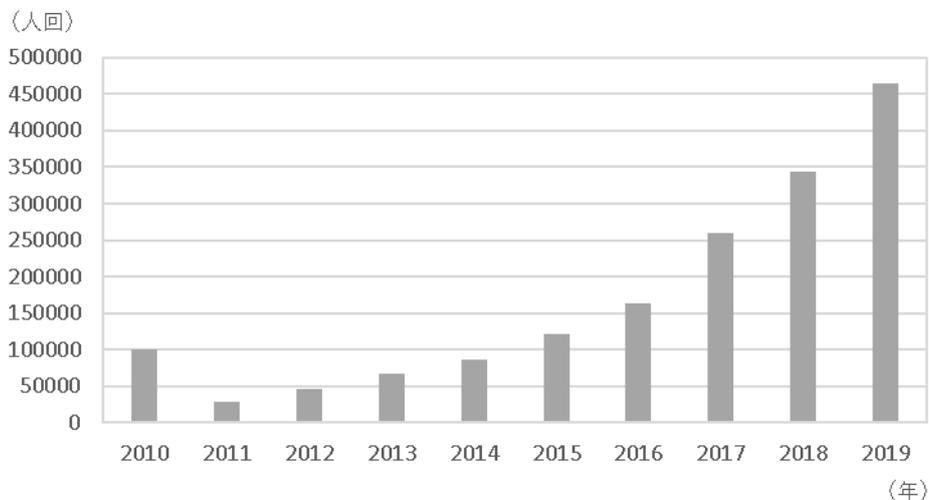


図4 外国人観光入込客数の推移
(岩手県観光統計概要より作成)

図4は岩手県を訪れた外国人の観光入込客数の推移を示した図である。2010年から2011年にかけては減少しているが、それ以降は増加し続けている。2011年に減少しているのは東日本大震災の影響だと考えられる。2011年以降増加しているのは全国的にもそのような傾向がみられ、岩手県も比例して増加していると考えられる。

表1 国籍別外国人観光入込客数 (単位：人回)

	台湾	中国	香港	タイ	韓国	アメリカ	オーストラリア	その他	合計
2011	12993	1086	2590	109	4633	1870	758	4579	28737
2014	55676	2693	3351	2620	3161	2442	1927	13553	85423
2015	71156	7640	4563	3831	5426	6877	2246	19752	121491
2018	208364	29133	15357	10149	15979	8358	7268	49632	344140
2019	249196	82386	22748	18022	13378	9114	8352	61001	464197

(岩手県観光統計概要より作成)

表1は外国人の観光入込客数を国籍別に分けて示したものである。2014年に台湾からの観光客が大きく増加している。理由としては2014年4月17日にいわて花巻空港と台湾の台北との国際チャーター便が就航したことが挙げられる。また、2018年に台湾が大きく増加し、他の国も増加しているのは2018年8月1日にいわて花巻空港初の国際定期便である花巻-台北便が就航したことによると考えられる。2019年に中国からの観光客が大きく増加している。理由としては2019年1月30日に花巻と中国の上海浦東との国際定期便が就航したことが挙げられる。

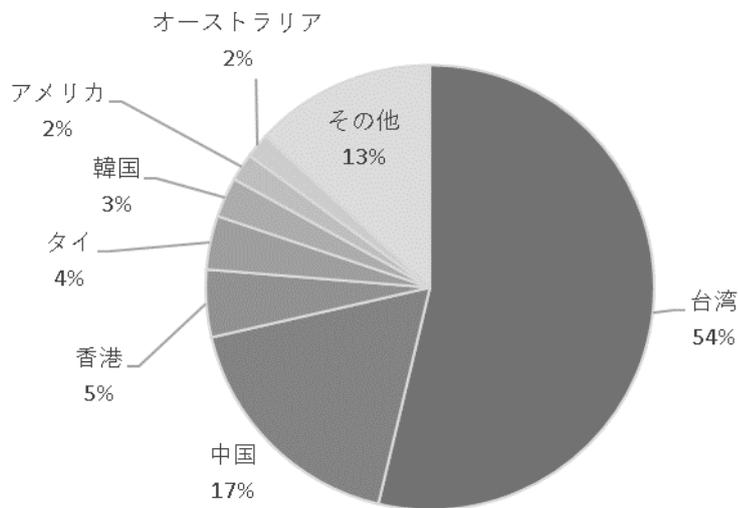


図5 国籍別外国人観光入込客数の割合（2019年）
（岩手県観光統計概要より作成）

図5は表1で示した国籍別の観光入込客数の2019年分を割合で示したものである。台湾、中国からの観光客が多く、全体の約7割を占めており、台湾は全体の約5割を占めている。これは花巻空港に台湾、中国の国際定期便があることが理由として考えられる。もし台湾との国際定期便が運休などで利用できなくなった際に、現在のような集客が見込まれない可能性がある。

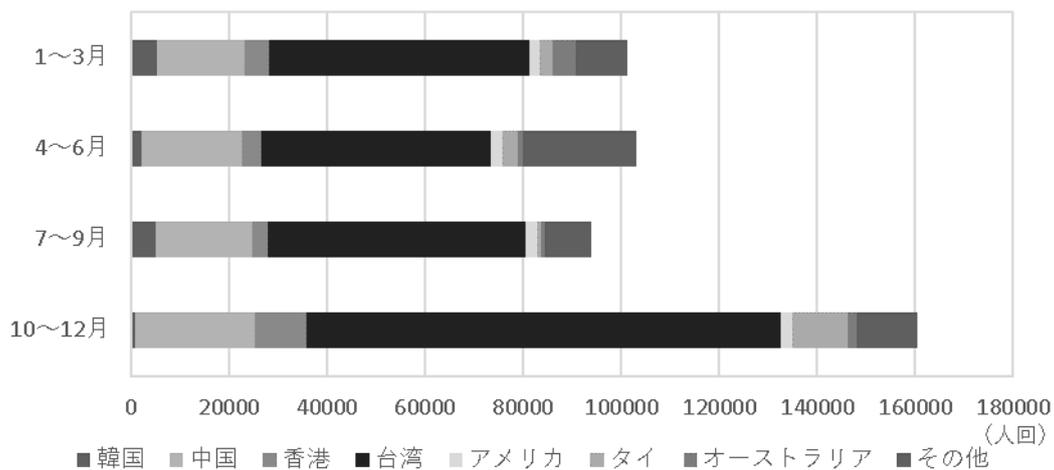


図6 四半期別外国人観光入込客数（2019年）
（岩手県観光統計概要より作成）

図 6 は 2019 年に岩手県に訪れた外国人観光客を国籍別に四半期別に分けたものである。四半期のうち 10～12 月が最も多く外国人観光客が訪れている。これはスキーを目的とした外国人観光客が多いということが考えられる。韓国からの観光客はゴルフに来る人が多いと分かり、そのため 10～12 月に韓国からの観光客が少ないと考えられる。

3. 八幡平市のインバウンド

八幡平市は岩手県の北西に位置し、秋田県と青森県に接していて、青森県と岩手県と秋田県のほぼ中心に位置している市である。

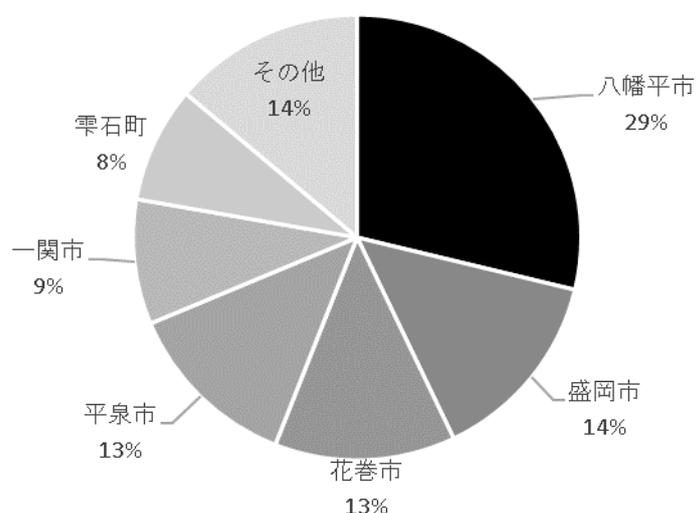


図 7 市町村別外国人観光客割合
(岩手県観光統計概要より作成)

図 7 は岩手県の市町村別に訪れた外国人観光客の割合を示したものである。八幡平市は岩手県全体の外国人観光客の 4 分の 1 以上を占めている。

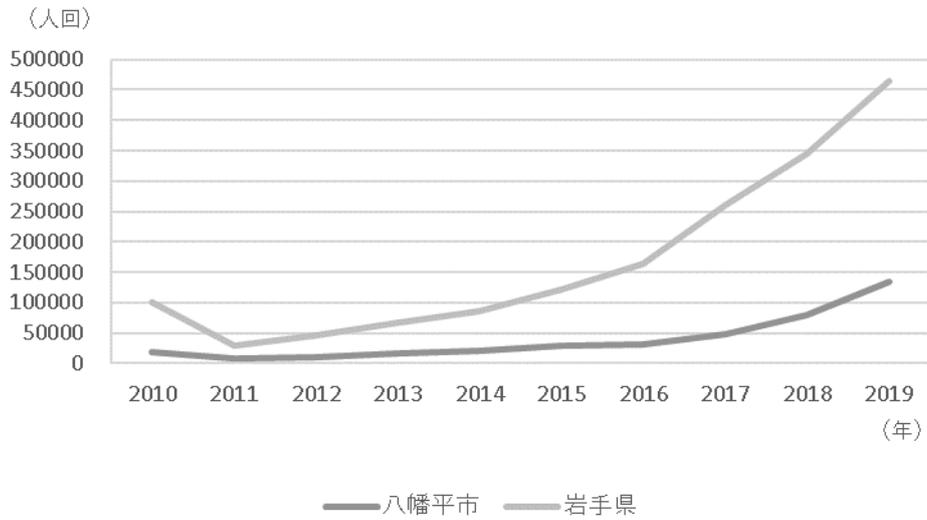


図8 岩手県と八幡平市の外国人観光入込客数の推移
(岩手県観光統計概要より作成)

図8は岩手県と八幡平市に訪れた外国人観光客の推移を比べたものである。岩手県は2011年に大きく外国人観光客が減少しているが、八幡平市ではあまり減少していない。これは八幡平市は内陸のため東日本大震災の影響が海岸沿いの市町村と比べ少なかったと考えられる。2011年以降は岩手県と八幡平市の外国人観光客は増加し続けている。

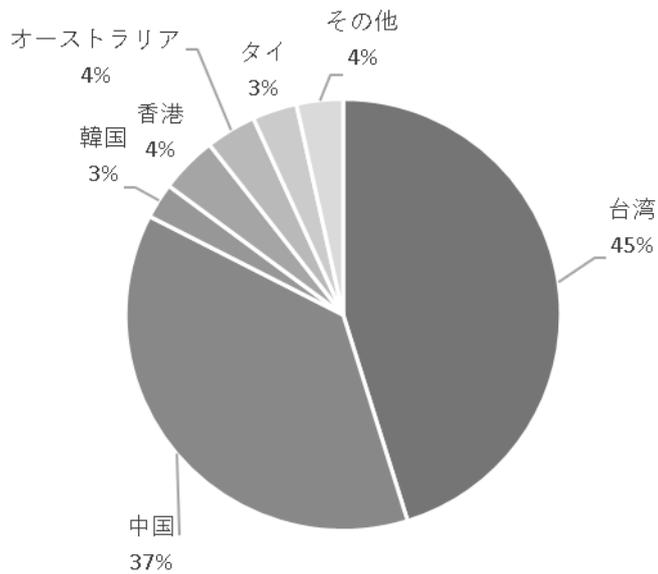


図9 国籍別外国人宿泊者の割合 (2019)
(八幡平 DMO データ分析結果報告書より作成)

図9は2019年の八幡平市での外国人宿泊者を国籍別の割合で示したものである。台湾と中国からの観光客が多く、台湾からの観光客は全体の4.5割、中国からの観光客は全体の約4割を占めており、あわせて約8割を占めている。これはいわて花巻空港に台湾と中国の国際定期便があるからであると考えられる。

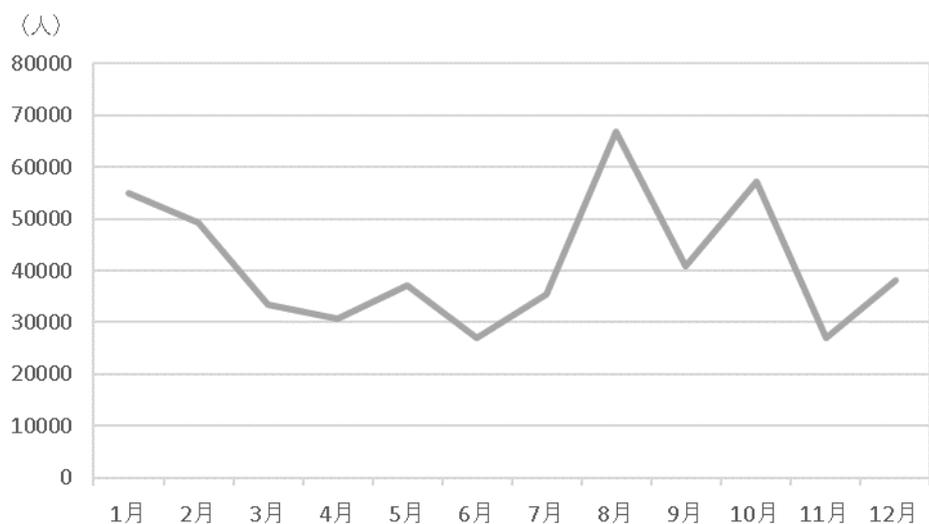


図10 月別宿泊者数推移 (2015～2019年度平均)
(八幡平市提供資料より作成)

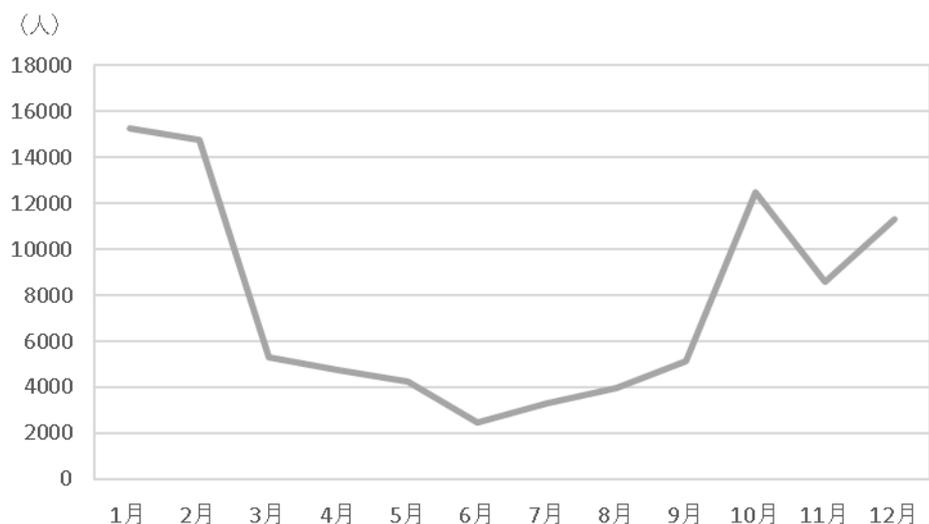


図11 月別外国人宿泊者数推移 (2017～2019年度平均)
(八幡平市提供資料より作成)

図10は八幡平市の月別の宿泊者数を示したものである。これを見ると1月～2月、8

月、10月に多くの観光客が訪れている。理由として1月～2月はスキー、8月は夏休みや盆休み、東北夏休みの宿泊地として、10月は紅葉を目的とした観光客が多く訪れるということが聞き取り調査から分かった。

図11は八幡平市の月別の外国人宿泊者数の推移を示したものである。これを見ると12月～1月、10月に多くの外国人観光客が訪れている。理由としては12月～1月のスキー、10月の紅葉を目的に外国人観光客が多く来ていることが聞き取り調査から分かった。

図10と図11を比べると8月のピークが外国人宿泊者数ではないことがわかる。理由としては国内と比べて帰省がなく、八幡平市は内陸のため海がないことが挙げられる。

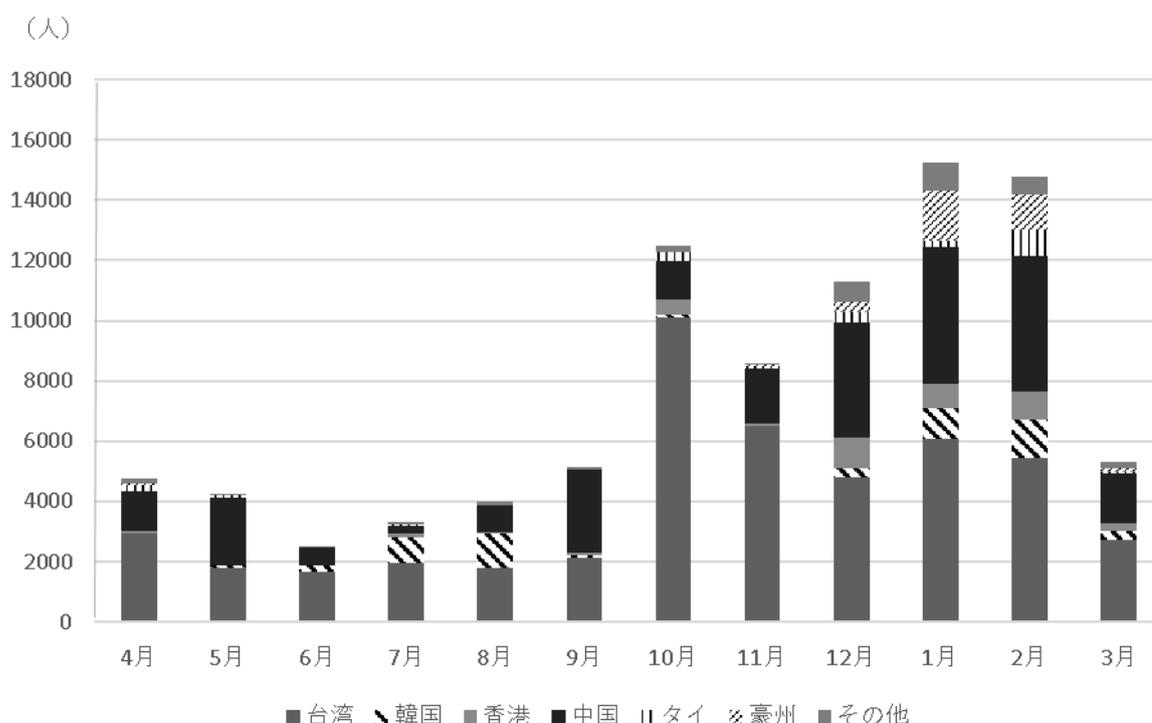


図12 月別国籍別外国人宿泊者数推移 (2017～2019年平均)
(八幡平市提供資料より作成)

図12は八幡平市の国籍別外国人宿泊者数を月別に示したものである。10月は台湾からの観光客がかなり多く、紅葉を目的に訪れていると聞き取り調査で分かった。12月～2月は台湾、中国、オーストラリア、香港、韓国が他の月と比べて多く、ウィンタースポーツをするのが目的に訪れているということが聞き取り調査で分かった。また、7月、8月に韓国からの観光客が多いのはゴルフを目的に訪れているということが聞き取り調査で分かった。



図13 安比高原スキー場と宿泊施設の分布
 (八幡平市観光協会提供資料より作成)

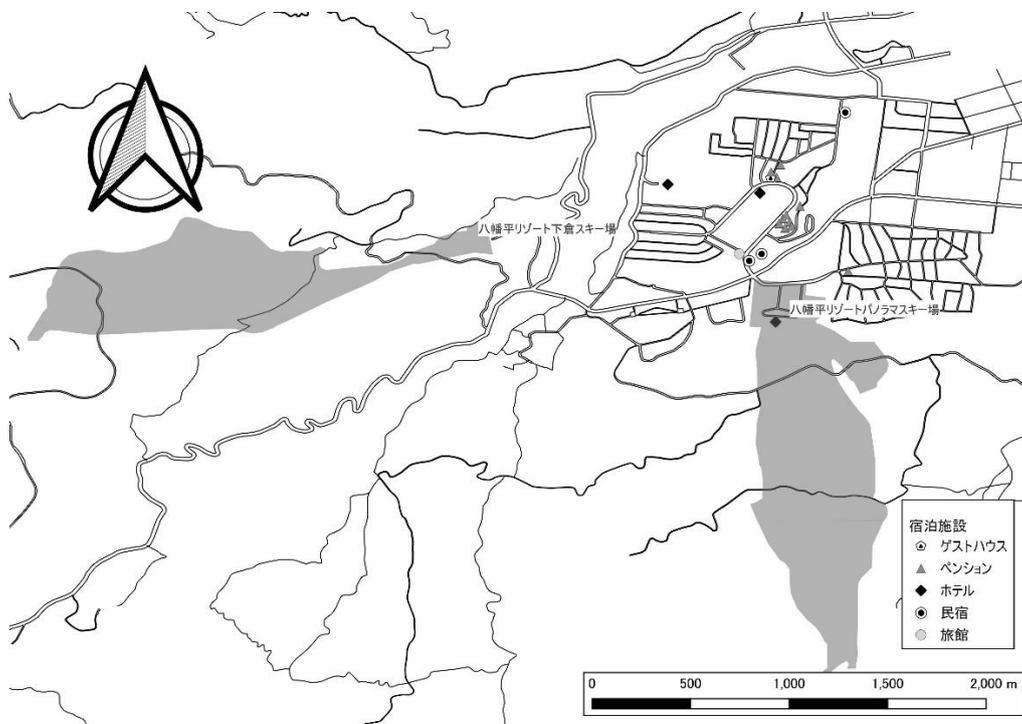


図14 八幡平リゾート下倉スキー場・パノラマスキー場と宿泊施設の分布
 (八幡平市観光協会提供資料より作成)

図13は八幡平市にある安比高原スキー場とその周辺の宿泊施設の分布を示したものであり、図14は八幡平リゾート下倉スキー場と八幡平リゾートパノラマスキー場とその周辺の宿泊施設の分布を示したものである。どちらの図からもペンションが多いことがわかる。これは日本人や富裕層以外の外国人観光客をターゲットにしているためだと考えられている。高級ホテルがスキー場の近くに位置している。これは富裕層の外国人観光客をターゲットにしていると考えられる。安比高原スキー場の近くには東北自動車道が通っており、いわて花巻空港と仙台国際空港、盛岡駅からのシャトルバスや鉄道が通っているため交通の便が良いことがわかる。

4. おわりに

八幡平市のインバウンドにおいて、自然とウィンタースポーツが重要な要素の一つだということが分かった。また、八幡平市はコロナ渦になる前までは外国人観光客が増え続けており、これは県や市だけではなくペンションやホテルが直接外国へ行き、現地でプロモーションしているからだ分かった。

今後の課題として、八幡平市の外国人観光客の約5割が台湾、約2割が中国であるという点が挙げられる。いわて花巻空港の国際定期便は現在台湾と中国があるが、他の国との国際定期便を増やせば他の国観光客も増加するのではないかと考える。また、新型コロナウイルスの影響で国際定期便が全便運休となってから、福島の水質汚染などの影響で中国との国際定期便が再開していないため、中国からの観光客が訪れず、コロナ渦前の状況に戻すことができないと考えられるため、中国人観光客数の回復が課題として挙げられる。

—謝辞—

本稿を作成するにあたり、岩手県商工労働観光部観光・プロモーション室国内観光担当主任主査日向満様、岩手県商工労働観光部観光・プロモーション室国内観光担当主事根末菜美様、岩手県商工労働観光部観光・プロモーション室国際観光担当主任主査川村一弘様、八幡平市商工観光課観光振興係長伊藤孝治様、一般社団法人八幡平市観光協会事務局長中軽米昭彦様には大変お世話になりました。ここに記して厚く御礼申し上げます。

—参考文献—

・岩手県：『岩手県観光統計概要』（最終閲覧：2023/01/11）。

<https://www.pref.iwate.jp/sangyoukoyou/kankou/toukei/index.html>

・株式会社八幡平DMO：『八幡平 DMO データ分析結果報告書』（最終閲覧：2023/01/11）。

<https://hachimantai-dmo.trip8.jp/wp-content/uploads/2022/09/%E3%83%87%E3%83%BC%E3%82%BF%E5%88%86%E6%9E%90%E5%A0%B1%E5%91%8A%E6%9B%B8%E3%80%802022%E5%B9%B4%E6%9C%88%E7%89%88%E3%80%802022.9.5.pdf>

